

# 連研通信

十勝組研修部

2010/6/26

経本をいただいた後、『讚仏偈』に戻る、という一連の作法を再確認しました。仏教讃歌は、

けれど同化はしないよ、という距離感で行くのが良いような気がします。

手渡しは今回が最終号です。連研は終了ですが、今後ともに学んで参りましょう。(石)

二〇一〇(平成二十二年)五月二十九日、

十勝組、第八期「連研」の第十三回が、

帯広別院を会場に開催されました。

参加者は、十カ寺から三六人でした。

今回も開会式では全員で『正信偈』と

六首引和讃をいただきました。皆さん、

もう一人でもお勤め

できますね？

作法・おつとめは

増山さん(清水・熊

牛・寿光寺)でした。

みんなで『讚仏偈』を

お勤めしている最中

に、順番に、経本を

いただいて席を立ち、

お焼香しに行き、また自席に戻って来て、



順番に、お焼香です。



おつとめ：増山さん

『しんらんさま』を歌いました。七百回大遠忌法要のときに

作られた歌と知って、私はびっくりしてしまいました。色褪せてませんね！

テーマ提起・話し合い法座は、脳死や



テーマ：石田です

臓器移植など

「いのち」の問題を考えま

した(音更・

妙法寺・石田)。七月から「臓器移植法」

が変わります。あんまり、身近とは思

※ひとこと感想を紹介します。

「今回のテーマは大変、おどろかしい問題

でしたが、命に関しては、若い時と高齢

者になってからは、思いも異なってくる

と思いますが、私たち夫婦は高齢で、主

人の病気も脳動脈瘤を持って手術もむ

ずかしい場所にあるので死を常に背負

っての生活で

すが、暗く考

えずに毎日を

何とか楽しく

過ごすように

して、不幸と

は思わず、生

活していま

す」「連続研修





会で二年間と長い期間と思いましたが早くも残り少なく終了ですね。ご法座・お教えをお話しくささいまして感謝しています。ありがとうございます「念仏の教えをいただいた私は、臓器移植など考えたことはありません。(いのちの尊厳)毎日の日暮らしを大切にしていきたいです。六月は今までの反省のテーマを考えてください」「脳死ばかりでなくひとり暮らしの中でへ何かがあったら仏壇の下の箱の中を見るように」と甥に伝えてあります。

脳死・尊厳死についてでも文字できちんと表現しておくことが大切とされています。身寄りも近くにおらず、ひとり



暮らしをしているものだから、いろいろ考えていま

す」「連研も早いもので、あと一回になりました。初めの頃は、知らない方ばかりでしたが、回を重ねていくうちに、皆様と良い

御縁(出遇い)がありました。司会と発表をしていくうちに、大変良い勉強になりました。浄土真宗を信じて良かったです」「あと一回となり、さびしいですが、この連研を通して沢山のひとと出会えたことが喜びです。連研で学ばせていただいたことを、残りの人生にいかせたらと思っています」「脳死は他人事と思っ

た自分気付かされました。子や孫と集まる機会に家族での意見をまとめたいと考えました。自分は脳死になったら移植に同意しても良いかなとも考えました」「十三回目の連研になってしまいました。今回のテーマはとてもおもしろくて、命というものは、年がいても若くても大切なことです。私は、移植は反対です。これからは、法律が変わって行くので、それにしたがって行くしかないのですね」「研修部スタッフの住職の皆様には長い間、大切なお話、勉強をお教え頂きありがとうございます。自分のお寺に戻り御門徒の皆様にお伝えしてより良いお寺、開かれたお寺になるために協力できましたなら嬉しいと思っています」

(了)

